

# 根 菜 類

に ん じ ん

ば れ い し ょ

やまのいも(長芋)

ご ぼ う

もりあざみ(山ごぼう)

に ん に く

● た ま ね ぎ

かんしょ(さつまいも)

こ ん に や く

# にんじん登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
用途	劇毒	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		7	カンタスドライフロアブル	収穫14日前	3回以内	1000~1500倍(100~300g)	100~67g	黒葉枯病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ボスカリド	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前	2回以内	1000倍(100~300g)	100g	黒葉枯病、軟腐病、斑点細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン・塩基性塩化銅	
		M7	ペルクート水和剤	収穫14日前	5回以内	1000倍(100~300g)	100g	菌核病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジン酢酸塩	
	500~1000倍(100~300g)					200~100g	黒葉枯病							
		19	ポリオキシシAL水和剤	収穫7日前	5回以内	500倍(100~300g)	200g	黒葉枯病	○	○	水和剤	散布	ポリオキシシ	
		P7	アリエッティ水和剤	収穫7日前	3回以内	800倍(100~300g)	125g	黒葉枯病	○	○	水和剤	散布	ホセチル	
		M5・11	アミスターオブティフロアブル	収穫21日前	計5回以内	1000倍(100~400g)	100ml	黒葉枯病、斑点病、菌核病。しみ腐病、うどんこ病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン・TPN	
		M5・11	ダコニール1000	収穫7日前		1000倍(100~300g)	100ml	黒葉枯病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前	3回以内	2000~3000倍(100~300g)	50~33ml	黒葉枯病	○	△	フロアブル	散布	クレソキシムメチル	
	3000倍(100~300g)					33ml	斑点病							
	M1	Zボルドー	-	-	500~800倍(100~300g)	200~125g	黒葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
	M1	コサイド3000	-	-	500~1000倍(100~300g)	200~100g	黒葉枯病	○	×	顆粒水和剤	散布	水酸化第2銅		

用途	劇毒	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前	1回	20kg	-	ネグサレセンチュウ	-	-	粒剤	土壌混和	ホスチアゼート	
	15~20kg					-	ネコブセンチュウ							
		1B	ネマキック粒剤	播種前	1回	10~15kg	-	ネグサレセンチュウ	-	-	粒剤	土壌混和	イミシアホス	
	15kg					-	ネコブセンチュウ							
		1B	ダイアジノン粒剤5	播種前	1回	6kg	-	ネキリムシ類	速	短	粒剤	土壌混和	ダイアジノン	
		4A	スタークル顆粒水溶剤	収穫7日前	2回以内	2000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ジノテフラン	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日	2回以内	2000~4000倍(100~300g)	50~25g	ヨトウムシ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド	
	UN	プレオフロアブル	収穫前日	2回以内	1000倍(100~300g)	100ml	ハスモンヨトウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル		
	6	アフーム乳剤	収穫前日	3回以内	2000倍(100~300g)	50ml	ハモグリバエ類、ホモノハダニ、ハスモンヨトウ	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩		

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ロロックス	播種直後	100~200g(70~150g)	2回以内 (播種直後1回、 生育期1回)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニユロン	
			(雑草発生始期)にんじん3~5葉期 (雑草発生始期、収穫30日前まで)	100~150g(70~150g)						
		ゴーゴーサン乳剤30	は種後出芽前(雑草発生前)	200~400ml(70~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ペンディメタリン	
	ゴーゴーサン細粒剤F	は種後出芽前(雑草発生前)	4~5kg	細粒剤						
茎葉除草剤 (選択剤)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫14日前まで 雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 但し収穫14日前まで	150~200ml(100~150g) 200ml(100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は 全面散布	セトキシジム	
茎葉 除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期、播種前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	

# ばれいしょ登録農薬適用表(1) (殺菌・殺虫・除草剤)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		21	オラクル粉剤	植付前	1回	20kg	—	粉状そうか病	○	×	粉剤	全面土壌混和	アミスルフロム	
		36	ネビジン粉剤	植付時	1回	60kg 30kg	—	そうか病、粉状そうか病 そうか病	○	×	粉剤	全面土壌混和 作業土壌混和	フルスルファミド	
		29	フロンサイド水和剤	植付前 収穫14日前まで	6回以内 (植え付け前の土 壌混和1回まで、 浸漬1回まで、散 布4回まで)	600g(100g)	—	塊茎褐色輪紋病、粉状そうか病	○	×	水和剤	全面散布 土壌混和	フルアジナム	
			100倍	—		そうか病								
			1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g		疫病、菌核病								
			2,000倍(100~300g)	50g		夏疫病								
		2	ロブラール水和剤	植付前 収穫前日まで	4回以内 (但し、種いも散 布は1回以内)	125倍(3g/種いも100kg)	—	黒あざ病	○	×	水和剤	種いも散布	イプロジオン	
			1,000倍	100g	菌核病、夏疫病									
		21	ランマンフロアブル	収穫7日前まで	4回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	シアゾファミド	
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキソリニック酸	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	3回以内	500~800倍(100~300g)	200~125g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
			800倍(100~300g)	125g	疫病									
	M1	コサイド3000	植付前 —	— —	100倍 1,000倍(100~300g)	— 100g	そうか病 疫病、軟腐病	○	×	ドライ フロアブル	種いも瞬間浸漬	水酸化第二銅		
		—	—	—	—	—	—				散布			
	M1	ドイツボルドーA	—	—	400~800倍(100~300g)	250~125g	疫病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅		
	M1	ICボルドー66D	—	—	50倍(100~300g)	2g	疫病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考					
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	植付前	1回	4~6kg	—	ケラ、ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和 又は作業土壌混和	ダイアジノン						
		1B	スミチオン乳剤	収穫3日前まで	6回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アブラムシ類、テントウムシダマシ類	速	短	乳剤	散布	MEP						
		3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	エトフェンブロックス						
		劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g) 2,000~6,000倍(100~300g) 2,000倍(100~300g)	50~25g 50~17g 50g	テントウムシダマシ類 アブラムシ類 ジャガイモガ	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド					
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類	速						長	フロアブル	散布	スルホキサフロル	
		29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	遅						長	ドライ フロアブル	散布	フロニカミド	
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	ハスモンヨトウ、ジャガイモガ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド						
		劇	21A FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類、ナストビハムシ	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド					

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クレマト乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期植付前又は植付後萌芽直前 収穫21日前まで(畦間処理:雑草生育期)	100~200ml(100~150g) 300~500ml(100~150g)	1回 2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	雑草生育期 萌芽前処理	100~200ml(100~150g)	1回	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		毒	ブリグロックスL	萌芽直前畦間処理、雑草生育期 (但し、収穫前日まで)	400~600ml(100~150g)	2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)(収穫前日まで) 雑草生育期(イネ科雑草6~8葉期)(収穫前日まで)	150~200ml(100~150g) 200ml(100g)	農業総使用回数、 合せて2回以内	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	

# やまのいも(長芋)登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3ml/1穴	—	褐色腐敗病、根腐病、センチュウ類、ハダニ類、ネキリムシ類、ケラ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	間成分の使用回数に注意
	劇	IRAC 8	ドクロロール	—	1回									
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	植付け21日前まで	1回	20~30kg	—	褐色腐敗病、根腐病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤	—	1、M3	ベンレート水和剤20	植付け前	1回	100~200倍(10分)	—	青かび病、褐色腐敗病	○	○	水和剤	種いも浸漬	チウラム、ベノミル	
						20倍(2秒)	—	根腐病						
						種いも重量の0.3~0.5%	—	青かび病						
	—	M7	ベルコートフロアブル	植付け前 収穫7日前まで	5回以内 (種いもへの処理は1回)	200倍	—	青かび病	○	△	フロアブル	10分間種いも浸漬	イモノクザンアルベシル酸塩	
						1,000倍(100~300g)	100ml	炭疽病、葉渋病						
	—	M5	ダコニール1000	収穫30日前まで	6回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	炭疽病、葉渋病、つる枯病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
						2,000~3,000倍(100~300g)	50~33ml	葉渋病						
	—	11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	葉渋病、炭疽病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメテル	
2,000倍(100~300g)						50ml	葉渋病、炭疽病							
—	M1	キノドール水和剤40	収穫14日前まで	5回以内	600倍(100~300g)	167g	葉渋病	○	×	水和剤	散布	有機銅		
					2,000倍(100~300g)	50g	葉渋病							
—	M1	コサイド3000	—	—	2,000倍(100~300g)	50g	葉渋病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅		
					500倍(100~300g)	200g	炭疽病、葉渋病							
—	M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300g)	200g	炭疽病、葉渋病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		
					500倍(100~300g)	200g	炭疽病、葉渋病							

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考		
殺虫剤	—	—	1B	ネマトリンエース粒剤	植付時	1回	20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
			4A	ダントン粒剤	植付時	1回	6~9kg	—	コガネムシ類	中	長	粒剤	作業処理土壌混和	クロチアニジン		
			劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで 「むかご」は収穫21日前まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、アザミウマ類、ナガイモコガ	中	長	水溶剤	散布	アセタミプリド	
			劇	3A	フォース粒剤	植付時	1回	4kg	—	タネハエ	—	—	粒剤	植溝土壌混和	テフルトリン	
								6kg	—	ネキリムシ類						
			3A	ガードベイトA	生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン		
			3A	トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300g)	100g	アブラムシ類、ヤマトイモコガ、ハスモンヨトウ	速	中	乳剤	散布	エトフェンプロックス		
			劇	3A	マブリック水和剤20	収穫7日前まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類、ヤマトイモコガ、ハスモンヨトウ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート	
			6	コロマイト乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~500g)	100ml	ハダニ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン		
			29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		
			4C	トランスフォームフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類	速	長	フロアブル	散布	スルホキサフロル		
			劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	カンザワハダニ、ナガイモコガ	速	中	フロアブル	散布	クルルフェナビル	
			25A	ダニサラバフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~350g)	100ml	ハダニ類	速	中	フロアブル	散布	シルメトフェン		
28	ブレバソソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、ナガイモコガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニプロロール					

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)	—	バスタ液剤	収穫30日前まで (雑草生育期植付前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)	農業総使用 回数、合せて 2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよび グルホシネートPを含む農 薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	収穫30日前まで (雑草生育期植付前又は畦間処理)	300~500ml(100~150g)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよび グルホシネートPを含む農 薬の使用回数に注意
雑草除草剤 (選択性)	—	ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期、 但し収穫60日前まで	150~200ml(100~150g)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期、 但し収穫60日前まで	200ml(100~150g)						
土壌処理 除草剤	—	クレマート乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	200~400ml(100~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		ロックス	植付直後 生育期・但し収穫60日前まで (雑草発生前~発生揃期)	100~200g(70~150g)	2回以内	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布 畦間土壌散布	リニユロン	

# ごぼう登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>1穴当り3~6ml	—	ハリガネムシ類、ネキリムシ類、ケラ、黒あざ病、センチュウ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種28日前まで	1回	20~30kg	—	萎凋病、黒あざ病、一年生雑草	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		14	リゾレックス粉剤	播種前	1回	40kg	—	黒あざ病	○	×	粉剤	全面土壌混和	トルクロホスメチル	
		24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100g	黒斑細菌病	○	○	水和剤	散布	カスガイミン、 塩基性塩化銅	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	播種前	1回	20kg	—	ネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	播溝土壌混和	ホスチアゼート	
		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	ダイアジノン	
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50g	アブラムシ類	速	長	水和剤	散布	スルホキサフロル	
	劇	3A	フォース粒剤	播種時	1回	4kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和	テフルトリン	
		3A	ガードバイトA	播種時~生育初期	5回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ペルメトリン	
	劇	3A	アグロスリン乳剤	収穫14日前まで	5回以内	2,000倍(100~300ℓ)	50ml	アブラムシ類、ヒョウタンゾウムシ類	速	中	乳剤	散布	シベルメトリン	
		4A	アドマイヤー1粒剤	播種時 収穫7日前まで	1回 2回以内	4kg	—	アブラムシ類	—	—	粒剤	播溝土壌混和 株元散布	イミダクロプリド	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		クロロIPC	播種直後	200~500ml (70~100ℓ)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC	
		アグロマックス水和剤	播種後発芽前(雑草発生前)	200~300g (100ℓ)	1回	一年生雑草(キ科、カツラギサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	
茎葉除草剤 (非選択性)		ザクサ液剤	収穫前日まで (雑草生育期 播種前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)	農薬総使用回数、 合わせて2回以内	1年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよび グルホシネートPを含む 農薬の使用回数に 注意
		パスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期 播種前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)		1年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよび グルホシネートPを含む 農薬の使用回数に 注意
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 (収穫30日前まで) 雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 (収穫30日前まで)	150~200ml (100~150ℓ) 200ml (100ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメカビヒラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	

もりあざみ(山ごぼう)登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種21日前まで	1回	30kg	—	黒あざ病、半身萎凋病、一年生雑草	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		M5	ダコニール1000	収穫30日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	100ml	ステムフイリウム葉枯症	○	×	フロアブル	散布	TPN	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		1B	ダイアジノン粒剤5	播種時	1回	6kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	土壌表面散布	ダイアジノン	
		3A	ガードベイトA	生育初期 (但し、収穫7日前まで)	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	株元散布	ベルメリン	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		パスタ液剤	収穫30日前まで (雑草生育期は種前または畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫7日前まで)	150~200ml(100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布又は 全面散布	セトキシジム	
土壌処理 除草剤		アグロマックス水和剤	播種後発芽前 (雑草発生前)	150~200g(100ℓ)	1回	一年生雑草(キク科、カヤツリグサ科を除く)	水和剤	全面土壌散布	プロピザミド	

# にんにく登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分
殺菌剤		M3 1	ベンレート水和剤20	植付前	1回	種球重量の0.5~1% 種球重量の1%	黒腐菌核病 イモグサレセンチュウ	—	—	水和剤	種球粉衣(湿粉衣)	チウラム ベニミル
		2	スミレックス水和剤	植付前	1回	種球重量の0.4%	黒腐菌核病	—	—	水和剤	種球粉衣(湿粉衣)	プロシミドン
		11	アミスター20フロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	さび病、葉枯病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン
		24 M1	カスミンボルドー	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン 塩基性塩基銅
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	さび病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル
		M5	ダコニール1000	収穫7日前まで	6回以内	1,000倍(100~300ℓ)	黄斑病、葉枯病、白斑葉枯病、さび病	○	×	フロアブル	散布	TPN
		41 25	アグリマイシン100	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	○	水和剤	散布	オキシテトラサイクリン ストレプトマイシン
		3 M3	テーク水和剤	収穫7日前まで	3回以内	600~800倍(100~300ℓ)	さび病、葉枯病、白斑葉枯病	○	△	水和剤	散布	シロナゾール マンゼブ
		M7 19	ポリバリン水和剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	葉枯病、黄斑病	○	○	水和剤	散布	イミノタジン酢酸塩 ポリオキシシン
		M7 19	ベルコート水和剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~1,500倍(150~300ℓ)	葉枯病	○	△	水和剤	散布	イミノタジンアルベシル酸塩
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300ℓ)	葉枯病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール
		M1	コサイド3000	—	—	2,000倍(100~300ℓ)	春腐病	○	×	ライフロアブル	散布	水酸化第二銅
		M1	ICボルドー66D	—	—	50倍(100~300ℓ)	春腐病、白斑葉枯病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100~300ℓ)	春腐病、さび病、白斑葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅

用途	毒劇	IRACコード	薬剤	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分
殺虫剤		1	ネマトリンエース粒剤	植付前	1回	25kg	イモグサレセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート
	劇	1	ダイアジノン水和剤34	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~300ℓ)	ネギコガ	速	短	水和剤	散布	ダイアジノン
	劇	21 FRAC 39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍(100~300ℓ)	ネギコガ、チューリップサビダニ、アザミウマ類、アブラムシ類、さび病	遅	中	乳剤	散布	トルフェンピラド
	劇	3	マブリック水和剤20	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍(100~300ℓ)	アブラムシ類、ネギコガ	速	長	水和剤	散布	フルバリネート
	劇	4	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300ℓ)	アザミウマ類、ネギコガ(2,000~4,000倍)、	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド

用途	毒劇	薬剤	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分
除草剤		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期植付前又は畦間処理)	農薬総使用回数、 合せて2回以内	300~500ml(100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート
		ザクサ	収穫前日まで(雑草生育期萌芽前又は畦間処理)		300~500ml(100~150ℓ)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩
		クレマート乳剤	植付後萌芽前(雑草発生前)	1回	200~400ml(100~150ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス
		ゴーゴーサン乳剤	植付前(マルチ前)	1回	300~500ml(70~150ℓ)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ペンディメタリン
			植付後(雑草発生前) (但し、収穫60日前まで)		300~500ml(70~100ℓ)				
		ナブ乳剤	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)(但し、収穫7日前まで)	1回	150~200ml(100~150ℓ)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム
	ロロックス	植付前(マルチ前)(雑草発生前)	1回	100~150g(70~150ℓ)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	リニユロン	
		植付後~萌芽前(雑草発生前)		100~150g(70~150ℓ)					

**展着剤** 野菜類登録の剤(P50)を使用して下さい。

# たまねぎ登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RAO コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 濃度	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8B	クロールピクリン	—	1回 (圃場)	<床土・堆肥>1穴当り3~5ml	—	疫病、苗立枯病、センチュウ類	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
						<圃場>1穴当り2~3ml	—	ケラ、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草						
	劇	FRAC M3 IRAC 8F	ガスタード微粒剤	播種又は定植21日前まで	1回	10~20kg	—	一年生雑草	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して速く混和する	ダゾメット	
						20kg	—	べと病						
						20~30kg	—	ネコブセンチュウ、一年生雑草、乾腐病、白絹病						
						30~60kg	—	黒腐菌核病						
						30kg	—	紅色根腐病						
						20~40kg	—	苗立枯病						
						20~30kg	—	黒穂病、一年生雑草						
						秋期(翌春播種)	—							

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 濃度	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		29	フロキサイド水和剤	定植直前	1回	50倍	—	乾腐病	○	×	水和剤	5分間苗根部浸漬	フルアジナム		
				収穫7日前まで	5回以内	500倍 (25g)	—	灰色かび病				散布(ブーム)			
				1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	べと病、灰色かび病、灰色腐敗病	散布								
		1	ベンレート水和剤	播種前	1回	1g/1kg培土	—	乾腐病	○	○	水和剤	育苗培土混和	ペノミル		
				移植直前		20倍	—					3分間苗根部浸漬			
				定植前		50倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5g)あたり500ml~1L	—					灌注			
				100倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5g)あたり500ml		—	散布								
		1	トップジンM水和剤	定植直前	6回以内 (但し、定植後は5回以内)	500倍	—	灰色腐敗病	○	○	水和剤	5分間苗根部浸漬	チオファネートメチル		
				収穫前日まで		500~1,000倍 (100~300g)	200~100g	灰色腐敗病、小菌核病				散布			
		3	トリフミン水和剤	定植直前	1回	50倍	—	乾腐病	○	○	水和剤	5分間苗根部浸漬	トリフルミゾール		
				定植前		50~100倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約5g)当り0.5g	—					苗床灌注			
		11	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル		
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病、灰色腐敗病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロビン	農薬剤注意	
		11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病、灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病、黒かび病	○	○	フロアブル	散布	ビコキシストロビン		
		24, M1	カスミホルドー	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガイマイン、塩基性塩化銅		
		M1	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	500倍 (100~300g)	200g	べと病、灰色かび病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅		
		M1	コサイド3000	—	—	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	軟腐病	○	×	顆粒水和剤	散布	水酸化第二銅		
						1,000倍 (100~300g)	100g	りん片腐敗病							
		40, M1	フェスティバルC水和剤	収穫7日前まで	3回以内	600~800倍 (100~300g)	167~125g	べと病、白色疫病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ、塩基性塩化銅		
		40, M5	プロボース顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて6回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	べと病、白色疫病、灰色かび病	○	○	顆粒水和剤	散布	ベンチアハリカルブイソプロピル、TPN	同成分剤の使用回数に注意
		M5	ダコニール1000	収穫7日前まで	6回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病、灰色かび病、白色疫病	○	×	フロアブル	散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意	
		2	ロブラール水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	灰色かび病、灰色腐敗病、黒斑病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン		
		21	ランマンフロアブル	収穫7日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	白色疫病、べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシソニック酸		
		19	ホリオキシンAL水和剤	収穫3日前まで	5回以内	農業総使用回数、合わせて5回以内	500~750倍 (100~300g)	200~133g	灰色かび病	○	○	水和剤	散布	ホリオキシン複合体	同成分剤の使用回数に注意
	500倍 (100~300g)						200g	ネギアザミウマ、小菌核病							
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内		1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67ml	灰色かび病、灰色腐敗病	○	○	顆粒水和剤	散布	ボスカリド	
	1,500倍 (100~300g)						67ml	小菌核病							

# たまねぎ登録農薬適用表(2) (殺虫・除草)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考		
殺虫剤	1B	ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン粒剤5	播種時又は定植時	2回以内	3~5kg	—	ケラ、コオロギ、タネバエ、タマネギバエ	—	—	粒剤	作付前:全面土壌混和 又は作後土壌混和 作物生育中:作業処理して 軽く覆土	ダイアジノン			
				収穫30日前まで		4~6kg	—	コガネムシ類幼虫								
						6kg	—	タネバエ、タマネギバエ								
	劇	1B	ダイアジノン乳剤40	ダイアジノン乳剤40	収穫21日前まで	2回以内	農業総使用回数、合せて2回以内	700~1,200倍 (100~300g)	143~83ml	アザミウマ類	速	短	乳剤	散布	ダイアジノン	
								1,000倍 (100~300g)	100ml	アブラムシ類						
								700倍 (100~300g)	143ml	タマネギバエ						
								1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	ネギハモグリバエ						
	1B	1B	スミチオン乳剤	スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内		1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	MEP	
								700~1,000倍 (100~300g)	148~100ml	アザミウマ類						
	1B	1B	マラソン乳剤	マラソン乳剤	収穫7日前まで	6回以内		1,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	
1,000倍 (100~300g)								100ml	ハモグリバエ類							
3A	3A	ガードベイトA	ガードベイトA	定植前	5回以内		3kg	—	ネキリムシ類	—	—	粒剤	土壌表面散布	ベルメトリン		
				生育初期									株元散布			
劇	3A	アグロスリン乳剤	アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	5回以内		2,000倍 (100~300g)	50ml	アザミウマ類、シロイチモンジヨトウ、ネギハモグリバエ	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン		
劇	4A	モスピラン顆粒水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内		2,000倍 (100~300g)	50g	アザミウマ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド		
	9B	コルト顆粒水和剤	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内		2,000倍 (100~300g)	50g	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	速	中	顆粒水和剤	散布	ビリフルキナゾン		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考	
茎葉除草剤 (選択剤)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 (但し収穫14日前まで)	150~200ml (100~150g)	2回以内	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 または全面散布	セトキシジム		
			雑草生育期イネ科雑草6~8葉期 (但し収穫14日前まで)	200ml (100~150g)							
茎葉除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起5日前まで(雑草生育期)	200~500ml (通常散布50~100g)、 (少量散布5~50g)	3回以内	一年生雑草(秋播栽培、春播栽培)	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩		
			収穫7日前まで(雑草生育期、畦間処理)	200~500ml (通常散布50~100g)、 (少量散布25~50g)							一年生雑草(秋播栽培、春播栽培)
			耕起又は定植14日前まで(スギナ生育期)	1500~2000ml (通常散布50~100g)、 (少量散布25~50g)							
			バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150g)	農業総使用回数、合せて2回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	収穫7日前まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml (100~150g)	一年生雑草		液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意	
		毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前 畦間処理:雑草生育期、但し収穫3日前まで	600~1,000ml (100~150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット、バラコート	
土壌処理 除草剤		ゴーゴーサン乳剤	定植前(雑草発生前)	300~500ml (70~150g)	1回	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布 (移植栽培)	ペンディメタリン		
			定植後(雑草発生前)(但し、収穫30日前まで)								

# かんしょ(さつまいも)登録農薬適用表

登録内容は2024年9月1日現在

用途	劇毒	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		1	トップジンM水和剤	植付前 貯蔵前～伏せ込み前	1回	200～500倍	—	黒斑病	—	—	水和剤	20～30分間種いも又は苗基部浸漬 30分間採苗用種いも浸漬	チオファネートメチル		
		1	ベンレート水和剤	植付前 播苗時 収穫7日前まで	1回 3回以内	500～1,000倍 種いも重量の0.4% 500～1,000倍(20～40m <sup>2</sup> /株)	— — —	つる割病、黒斑病 基腐病 黒斑病	— — —	— — —	水和剤	20～30分間苗基部浸漬 30分間苗浸漬 種いも粉衣 株元灌注 散布	ベンジル	同成分剤の使用回数に注意	
		1、M3	ベンレートT水和剤20	植付前	1回	20倍 200倍	— —	黒斑病 黒斑病	— —	— —	水和剤	1分間さし苗基部浸漬 30分間苗基部浸漬 30分間苗浸漬	チウラム ベノミル	同成分剤の使用回数に注意	
		M1	ドイツボルドーA	—	—	500倍(100～300g)	200g	斑点病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅		
		M1	Zボルドー	—	—	500倍(100～300g)	200g	斑点病、基腐病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

用途	劇毒	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	有効成分名	備考	
殺虫剤		1B	ネマトリンエース粒剤	苗床植付前 植付前	1回	10～30kg 15～20kg 20～30kg	— — —	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	— —	— —	粒剤	全面土壌混和 作条土壌混和 全面土壌混和	ホスチアゼート		
		1B	ダイアジノン粒剤5	植付前 収穫30日前まで	1回 3回以内	4～6kg 4～6kg	— —	ケラ、ネキリムシ類 コガネムシ類幼虫	— —	— —	粒剤	全面土壌混和又は作条土壌混和 作付前:全面土壌混和又は作条土壌混和、生育中:作条処理して軽く覆土	ダイアジノン		
	劇	3A	フォース粒剤	植付前	1回	9kg	—	コガネムシ類幼虫、ハリガネムシ類	—	—	粒剤	全面土壌混和または作条土壌混和	テフルトリン		
	劇	3A	アグロシリン水和剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000～2,000倍(100～300g) 1,000倍(100～300g)	100～50g 100g	アブラムシ類、ナガジロシタバ、ハスモンヨトウ イモカ、エビガラスズメ、コナシラミ類、ネキアザミヨメ、ヨウムシ、ハムシ類	速	長	水和剤	散布	シベルメトリン		
		3A	トレボン乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍(100～300g)	100ml	ハスモンヨトウ、ナガジロシタバ、アブラムシ類	速	中	乳剤	散布	イトファックロック		
		4A	アクタラ粒剤5	植付前 育苗期	1回	6～9kg 6～9kg 6kg	— — —	コガネムシ類幼虫 アブラムシ類	— —	— —	粒剤	全面土壌混和 作条混和 株元散布	チアトキサム		
		6	アフアーム乳剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍～2,000倍(100～300g)	100～50ml	ハスモンヨトウ、シロイチモンジヨトウ	速	短	乳剤	散布	イマダチン安息香酸塩		
		2B	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍～6,000倍(100～300g) 6000倍 16～32倍(0.8～1.6g)	50～17g 17g —	ハスモンヨトウ、ナガジロシタバ ヒルガオハモグリガ ハスモンヨトウ、ナガジロシタバ	速	長	顆粒水和剤	散布 無人航空機による散布	フルベンジアミド		

用途	劇毒	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期播苗前又は畦間処理(収穫14日前まで)	200～500ml(100～150g)	農業総使用回数、合わせて3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
		ザクサ液剤	雑草生育期播苗前又は畦間処理(収穫30日前まで)	300～500ml(100～150g)		一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネートPナトリウム塩	グルホシネートおよびグルホシネートPを含む農薬の使用回数に注意
	毒	ブリグロックスL	植付前 畦間処理、雑草生育期(但し、収穫30日前まで)	600～1,000ml(100～150g)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート	

# こんにゃく登録農薬適用表(殺菌・殺虫・除草剤・展着剤)

登録内容は2024年9月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時 薬量	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>3~5ml/穴	—	クラ、センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ類 乾腐病、根腐病、白絹病、紋羽病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	IRAC 8	ドロクロール	—	1回	<圃場>2~3ml/穴 <床土・堆肥>3~5ml/穴	—	センチュウ類、ネキリムシ類、ハリガネムシ類、乾腐病、根腐病、白絹病、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播付21日前まで	1回	20~30kg	—	根腐病(20°60kg)、白絹病、乾腐病、一年生雑草(20°60kg)	—	—	微粒剤	土壌混和	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		25, 41	アグリマイシン-100	播付前 収穫30日前まで	6回以内 (但し、種芋の浸漬は1回)	250~500倍 1時間種芋浸漬 1,000倍(100~3000)	— 100g	腐敗病 腐敗病、葉枯病	○	○	水和剤	浸漬 散布	オキシテトラサイクリン、ストレプトマイシン 硫酸塩	
	劇	3	トリフミンジェット	播付前 密閉出来る場所	1回	2㎡当り50~100g	—	乾腐病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		3	トリフミン乳剤	播付前	1回	30倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	乳剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		3	トリフミン水和剤	播付前	1回	50倍(種芋1㎡当り150ml)	—	乾腐病	○	○	水和剤	芽基部に散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		31	スターナ水和剤	播付前 収穫14日前まで	1回 5回以内	30~100倍 種芋に150ml/㎡吹付 1,000倍(100~3000)	— 100g	腐敗病	○	○	水和剤	種いも吹付け 処理 散布	オキシノニク酸	
		7	モンカッタフィン粉剤20DL	培土時(収穫30日前まで)	1回	3kg	—	白絹病	○	○	DL粉剤	株元散布	フルトラニル	
		14	リゾレックス水和剤	収穫30日前まで	3回以内	1,000倍 (30/㎡)	100g	白絹病	○	×	水和剤	株元灌注	トルクロホスメチル	
		M1	キノドー水和剤40	収穫30日前まで	8回以内	500~800倍(100~3000)	200~167g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	有機銅	
		M1	ヨネボン	収穫30日前まで	7回以内	500倍(100~3000)	200ml	腐敗病、葉枯病	○	×	乳剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	
		M1	4-4式ボルドー液	—	—	生石灰・硫酸銅共に400g/1000	—	腐敗病、葉枯病	○	×	—	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	Zボルドー	—	—	500~800倍(100~3000)	200~125g	腐敗病、葉枯病	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	ICボルドー66D	—	—	40倍(100~3000)	2.50	腐敗病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	—	—	—	40~80倍(100~3000)	2.5~1.30	葉枯病	○	×	—	散布	塩基性硫酸銅	
		NC M1	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	500倍(150~5000)	200g	葉枯病	○	△	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	1000調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		4A	アドマイヤー1粒剤	培土時(基根伸長期) 生育期(収穫21日前まで)	1回 2回以内	3~6kg 6kg	— —	アブラムシ類	—	—	粒剤	株元土壌混和 茎葉散布	イミダクロプリド	同成分剤の使用回数に注意
	劇	4A	アドマイヤー顆粒水和剤	収穫21日前まで	2回以内	10,000倍(100~3000)	10g	アブラムシ類	中	長	顆粒水和剤	散布	イミダクロプリド	同成分剤の使用回数に注意
		1B	スミチオン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍(100~3000)	100ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	MEP	
		29	ウララDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍(100~3000)	50g	アブラムシ類	遅	長	ドライフロアブル	散布	フロニカミド	
		11A	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し収穫前日まで	—	1,000倍(100~3000)	100g	ハスモンヨトウ	中	短	顆粒水和剤	散布	BT	

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
雑草除草剤 (非選択性)		バスタ液剤	雑草生育期播付前又は播付後萌芽前 雑草生育期、畦間処理(収穫30日前まで)	3回以内	薬量200~300ml(100~1500) 薬量300~500ml(100~1500)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
土壌処理 除草剤		クレマートU粒剤	播付後又は培土後(雑草発生前) ただし収穫120日前まで	1回	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ブタミホス	同成分剤の使用回数に注意
		クレマート乳剤	播付後又は培土後(雑草発生前) ただし収穫120日前まで	1回	200~400ml(100~1500)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	同成分剤の使用回数に注意
雑草除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 (収穫60日前まで)	1回	150~200ml(100~1500)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
展着剤		ステツケル	—	—	100ml/散布液100(100倍)	適用農薬 銅水和剤、ボルドー液	—	添加	パラフィン	
		ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液100(5,000~10,000倍)	適用農薬 殺菌剤、殺虫剤	—	添加	ポリオキアルキル脂肪酸エステル	